

こ
ん
に
ち
は

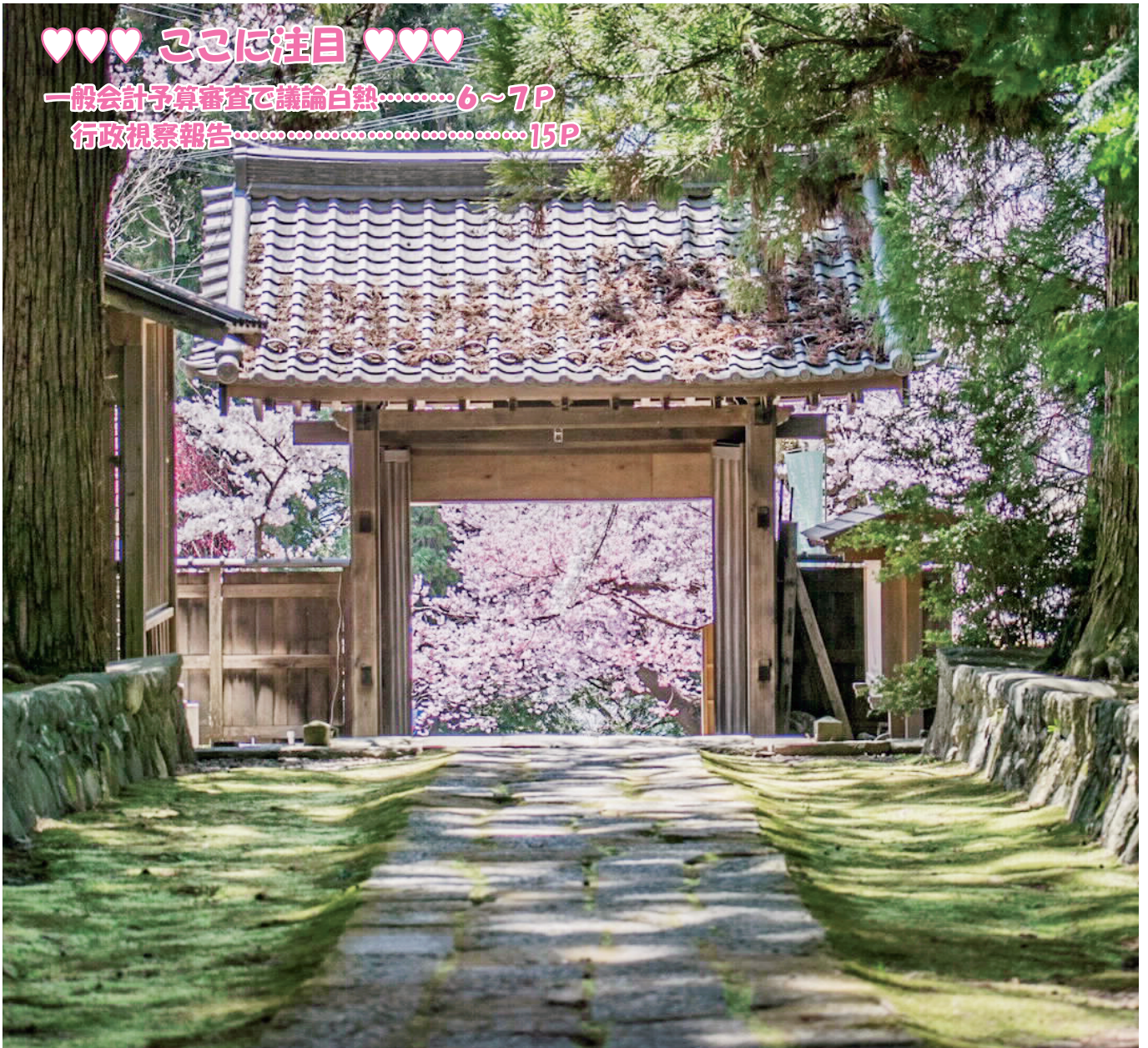
し も す わ
町 議 会

で す

♡♡♡ ここに注目 ♡♡♡

一般会計予算審査で議論白熱.....6~7P

行政視察報告.....15P



春の慈雲寺、花見新道を望む

一目でわかる議決結果 (3月定例会)

議案名 (一部省略)	
承認	【専決処分】令和元年度一般会計補正予算 (第8号)
可決	都市公園条例の一部改正 →詳しくは4ページ①へ
可決	町道路線の認定 →詳しくは4ページ②へ
可決	駅前交流情報拠点施設条例の制定 →詳しくは4ページ③へ
可決	職員定数条例の一部改正 →詳しくは4ページ④へ
可決	長期継続契約とする契約を定める条例の一部改正
可決	固定資産評価審査委員会条例の一部改正
可決	水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正
可決	長野県町村公平委員会共同設置規約の変更
可決	教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の制定 →詳しくは5ページ①へ
可決	廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正 →詳しくは5ページ②へ
可決	下諏訪ローイングパーク条例の制定 →詳しくは5ページ③へ
可決	印鑑登録及び証明に関する条例の一部改正
可決	国民健康保険税条例の一部改正
可決	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正
可決	令和元年度一般会計補正予算 (第9号) →詳しくは4ページ⑤へ
可決	令和元年度国民健康保険特別会計補正予算 (第2号)
可決	令和元年度駐車場事業特別会計補正予算 (第1号)
可決	令和元年度特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算 (第4号)
可決	令和元年度水道事業会計補正予算 (第2号) →詳しくは4ページ⑥へ
可決	令和元年度下水道事業会計補正予算 (第2号) →詳しくは4ページ⑥へ
可決	令和2年度一般会計予算
可決	令和2年度国民健康保険特別会計予算
可決	令和2年度駐車場事業特別会計予算
可決	令和2年度後期高齢者医療特別会計予算
可決	令和2年度交通災害共済事業特別会計予算 →詳しくは6ページ、7ページへ
可決	令和2年度温泉事業特別会計予算
可決	令和2年度特別養護老人ホーム事業特別会計予算
可決	令和2年度東山田財産区会計予算
可決	令和2年度水道事業会計予算
可決	令和2年度下水道事業会計予算
可決	令和元年度一般会計補正予算 (第10号)
可決	令和2年度一般会計補正予算 (第1号)
陳情名	
採択	医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める陳情 →詳しくは3ページへ
意見書名	
可決	医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める意見書 →詳しくは3ページへ

3月定例会 議案等賛否一覽

※議案等について、賛成、反対の双方があった場合のみ表示しています。

議案名等 (省略)	議員名 (議席順)	議決等結果	宮坂徹	岩村清司	中村光良	森安夫	青木利子	中山透	樽川信仁	増沢昌明	松井節夫	林元夫	大橋和子	野沢弘子	金井敬子
廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正		可決	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×
令和2年度一般会計予算		可決	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	×
令和2年度後期高齢者医療特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×
【陳情】医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める陳情		採択	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○
【意見書】医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める意見書		可決	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○

可決・採択に対する賛成者は「○」、反対者は「×」とします。議長は採決に加わらないため、「斜線」としています。

陳情・意見書の審査結果

陳情第1号の採択を受け、国へ提出します。

医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める意見書

議員提出

反対討論	賛成討論
厚生労働省の第4次の中間報告では、今後の医師数の見直しを数値的に出してくるとされており、現段階では意見書を出すことは早い。趣旨採択はどうか。	医師の養成定員減により、地域間格差が生まれる。地域医療を担う医師確保を、長野県知事も呼びかけている。

陳情第1号 陳情者 長野県医療労働組合
医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める陳情

日本の医師数は、経済協力機構(OECD)の調査で人口1000人当たり平均3.5人に対して、2.4人と極めて少なく、週60時間以上働く割合は、職種別で医師が最も高くなっています。特に救急や産科では、一か月の平均時間外労働が平均80〜90時間を超え、当直を含む32時間連続勤務が強いられています。

政府の2018年の方針では、2022年度以降の医学部定員減を検討するとしています。その根拠は厚生労働省の医師需給の将来推計からで、医師の長時間労働がケースによっては週最大80時間とされ、医療需要は入院ベット数を減らす地域医療構想に連動しています。

住民が安心して暮らせる救急医療や地域包括ケア体制の充実が図られるよう、2022年度以降の医師養成定員減という方向を見直し、医療現場と地域の実態を踏まえ、医師数をOECD平均以上の水準に増やすことを求めています。

賛成多数で採択されました。

議会だよりモニターの目
つまらない記事だと
ショックを受けて

毎回お願いするアンケートには、文字の大きさ、興味関心のある記事やつまらなかった記事などをお聞きしています。「文字の大きさはちょうど良い」が多数を占めています。これからは行間を広げるなど、もっと見やすい工夫をしていきます。

関心興味を持って読んでいただいた記事は、いつも「一般質問」がトップです。そして今回は「議会報告会」、「好きですしもすわ」と「当欄」が同数でランキングしました。(やったー)

つまらない記事は、4票を獲得した○
○で、担当者のショックが大いなので、割愛します(笑)。担当者は次回に期待して！と燃えています。

「文字が多すぎる」「文章が長い、もっとコンパクトにまとめると良い」などの意見もいただきました。これからは皆様のご意見を反映し、読みやすい議会だよりにしていきたいと、決意を新たにしています。



賛否一覽

陳情・意見書

モニター結果

令和2年度予算案を可決

住民満足度100%へ



総務経済常任委員会

①「砥川ふれあい渚」完成

赤砂崎防災公園のヘリポート広場、多目的広場、多目的グラウンドに、新たに砥川右岸に整備した「ふれあい渚」を追加します。一般の利用は原則無料。団体等がイベントで占用する場合は、営利営業を目的とする際は1日5000円、営利営業でなければ1時間1000円。

②赤砂崎公園に新しい町道が

公園整備に併せて、砥川橋から岡谷側へ直線となる「赤砂崎公園線」が新設されました。車道+歩道で幅員7・75m、道路延長は101・9m。現地視察を行い(写真右)、利便性を確認の上、認定しました。

③駅前交流情報拠点施設「ら。Shirotori」

地域おこし協力隊のミーミーセンタースメバとホシスメバでの実績を活かして、地域住民等との交流促進等及び地域情報の収集と発信の充実を図るため、駅前交流情報拠点施設として、旧シロトリ写真館をリノベーションして活用します。



「ら。shirotori」を視察

④町職員定数条例一部改正

教育委員会の博物館部門を、観光と関連を強め、相互の進展を図り、町長部局の産業振興課に所管替えるため、職員定数条例を改正します。併せて、温泉、水道、下水道で長期的見通しに基づき各1人ずつ職員定

数を増やします。定数上限は250人で変わらず、効率的な業務の執行に努めるとのことです。

⑤四ツ角駐車場トイレ建設は次年

★ 税務課では、ふるさとまちづくり寄附金1064万円を賜ったので、基金に933万円、記念品代109万円、役務費4万3000円を補正。

★ 産業振興課では、八島高原配水施設改修事業、四ツ角駐車場トイレ建設事業、農業用施設災害復旧事業6794万円を繰越明許費として、新年度に繰り越し。

また、商工業振興事業費、四ツ角駐車場トイレ建設工事設計監理委託料、ものづくり支援センター補助金、移住定住促進住宅改修事業補助金695万8000円を追加。

★ 水道事業会計では、資本的収入を760万円減額。資本的支出を209万1000円減額。

★ 下水道事業会計では、資本的収入を8801万7000円減額。資本的支出を821万3000円減額する。また、四ツ角駐車場トイレ建設に充てる事業債を設計変更の必要に伴い、130万円追加。

博物館などを観光活用へ

教育的見地は変わらず



①文化財保護と観光活用

改正により、諏訪湖博物館、赤彦記念館、宿場街道資料館、今井邦子文学館、伏見屋邸、七曜星社蔵、下諏訪埋蔵文化財センター星ヶ塔ミュージアムは産業振興課の所管になります。

文化財保護に関すること及び博物館の設置等に関する場合は、教育委員会において管理・執行する事務とされています。

生活文教常任委員会

ここで、文化財を積極的に活用した景観・まちづくりを進めるための条例改正を行い、文化財を「より良く保存し、より良く活用」していきます。文化財保護条例内の専門委員、博物館条例内の協議会は変わらず設置され、教育委員会も関わる予定です。審議内容、協議内容は教育委員会にも報告され、文化財の保護に關しては今までと何ら変わりません。



②ごみ処理料が変わります

令和3年4月1日（1年後）から、町指定袋以外での埋立ごみ及び事業系資源物を清掃センターに持ち込むときの料金を、岡谷市、諏訪市とそろえるため、10kg当り10円引き上げ、110円及び160円にします。平成30年度ベースでの影響額は、年間で家庭系が2000円増、事業系は6万円増。委員会では、影響額が少なくても、町民の負担増になるので反対。近隣市と足並みをそろえることは望ましいし、指定袋以外での持込みを安価で処理してくれるので賛成との意見があり、採決では賛成多数にて可決しました。

③新艇庫

AQUA未来オープン

4月1日より新艇庫AQUA未来の開設に伴い、周辺整備に伴う足湯トイレ、広場一帯を含む、ローイングパーク条例を制定します。AQUA未来の防災棟には会議室が設置され、平常時は一般開放されませんが、災害時は避難施設として使用されません。職員の常駐はなく、利用する各スポーツ団体の代表者が施錠を行う予定です。

AQUA未来では、ナックルフォア艇は1日800円、年間8000円、スloopオール1本は1日50円、年間500円で貸出。漕ぎ手4人以上の艇の保管は1ヶ月2000円、漕ぎ手4人未満の艇の保管は1ヶ月1200円、スloopオールの保管1本は1ヶ月2000円、スカルオールの保管1組（2本）は1ヶ月1500円の有償保管を開始し、年間約140万円の収入が見込まれます。収入の一部は県ボート協会を通じて、町所有のナックルフォア艇の修理・修繕に活用されます。

県管理の棧橋周辺整備は、遊覧船等、大型船が着岸できるように浚渫を行い、災害時等には水上輸送拠点となるよう整備をしています。



AQUA未来完成記念式典

新事業は51件
主なものをご紹介します！

9つの特別会計も
可決

82億9500万円 審査を経て 賛成多数で可決



健康スポーツ施設整備事業

2億4676万円

「健康スポーツゾーン構想」集大成として、旧艇庫、旧民間車検場（18万／月で敷地を借上）を、健康ステーション・健康フィールド・フットサルコートに整備。各種スポーツ用機器も配備し、子どもから高齢者まですべての年代がスポーツを楽しめる場にして、町民の健康増進に繋がります。



四ツ角交差点周辺整備事業 4940万円

大社通り・四ツ角小公園の整備、町道御田町線の道路改良と併せて、御田町線・大社通りから、自動車の右折ができるようになる予定です。



地域活動支援センター整備事業

710万円

利用者が快適に作業できるように、地域活動支援センターにエアコンを設置。

ジョギングロード改修事業

3500万円

ゴムチップ舗装の劣化したジョギングロードを改修。高浜から諏訪市境を予定。

後期高齢者医療特別会計予算

反対・保険料そのものや限度額の引き上げ、保険料軽減の特例の見直しなどが被保険者負担増になる
賛成・県は保険料を抑える努力をしている。所得に応じ適正な保険料を負担いただくのは当然

令和2年度 一般会計予算

前年度比2億1500万円減の 各常任委員会での



春宮公衆トイレ建設事業 7630万円

以前より改修要望が多かった春宮公衆トイレを、防災備蓄倉庫などの防災機能を備えたトイレに。洋式化、多目的トイレも予定しています。

防災拠点設備浸水対策事業

1790万円

災害時に防災拠点となる庁舎非常用発電機への浸水対策を実施。

マイナンバー普及促進事業

1520万円

現在当町のマイナンバーカード交付率は17.86%と県内第2位ですが、更なる普及促進に向け、企業訪問およびカード交付の専用窓口を設置します。



線路下子育て支援施設整備事業 1245万円

土日の開園など現行施設「ほけっと」(写真)を補完する形で、建設予定のイオン店内に子育て支援施設を整備、運営します。

反対意見が出され「賛成多数」で可決された会計予算

一般会計予算

反対・個人情報漏洩等問題の多いマイナンバーカードの普及事業は、すべきでない

- ・多額をかけて整備する「健康スポーツ施設」に、町民理解は得られない
- ・線路下子育て支援施設の、建設時の支出や、月50万円の借上料は高すぎる 等

賛成・精力的で、力強い予算と評価する

- ・町民みんなが利用でき、健康増進に大いに期待される「健康スポーツ施設」だ
- ・線路下子育て支援施設は町民要望の高い施設。イオン建設を、是非、後押ししてほしい 等

Q 住民満足度調査の結果
どう捉える

A 人口減少への
危機感顕著



金井 敬子

Q 昨年実施した住民満足度調査の結果を、来年度予算編成にどう反映させたいか。
A 調査結果は社会情勢も影響しており、災害の多い年だったため、「防災対策」や「コミュニケーション」を求める意見が多かった。
Q 「下諏訪町での生活において不満を感じる、あるいは不足していると思う」に対する回答の中で、前回調査より順位を上げた項目に対する具体的方策は。
A 「農林漁業の振興」に対

して、農地の情報収集に来年度からタブレットを導入する。また、民間林管理の為の新システムを導入し、職員も配置。
Q 「空き家・空き店舗等の活用」については、いかがか。
A 空き家バンク、改修のための制度、スメバでの相談・物件紹介等の他に、来年度から駅前交流拠点施設を使って「空き家見学会」の定例開催を予定。
Q 職員の増員など、見直

しが必要と考えるが。
A 過重労働職員がいるのは、事実。各課ヒアリングなど、常に状況把握に努めている。来年度は保育士4人を増員する。
Q 「第1期下諏訪町子ども・子育て支援事業計画」の実施状況をどう評価し、次期計画へ繋げるのか。
A 利用量の見込みと利用実績に乖離が生じたのは、「未満児保育」と「学童クラ

未満児保育の定数増

ブ」。次期計画では、未満児保育受け入れ数を、120人に増やす。



私たちは問いかけ提案する
一般質問



3月の定例会の一般質問は、12人が行いました。質問時間は答弁を含めて一人60分以内です。

8 P 金井 敬子

「住民満足度調査の結果 どう捉える」

9 P 林 元夫

「新しいスポーツ施設の管理・運営は」

中村 光良

「道路整備に一層力を入れて」

10 P 野沢 弘子

「風しん予防事業の現状と対策は」

樽川 信仁

「誘客のできる下諏訪温泉の新設の考えは」

11 P 松井 節夫

「新型コロナウイルス対策は」

森 安夫

「文化財の観光での活用を」

12 P 増沢 昌明

「教員の変形労働時間制は勤務軽減に？」

中山 透

「8月豪雨の被災箇所現地説明会開催は」

13 P 大橋 和子

「グローバル教育の推進は」

青木 利子

「新年度予算の基本的な考え方は」

14 P 岩村 清司

「区の表記を数字から地名にしてほしい」

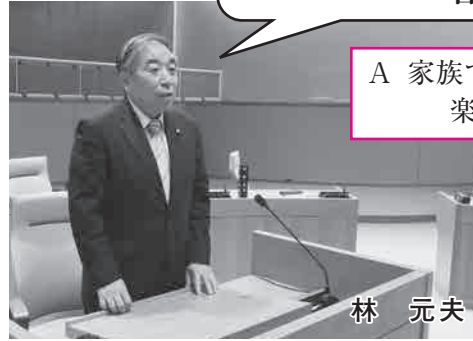
Q 道路整備に
一層力を入れて



中村 光良

A 新年度も
大型予算投入する

Q 新しいスポーツ施設の
管理・運営は



林 元夫

A 家族で
楽しめる施設に

Q 新年度予算での道路新設改良事業の予定は。

A 町道寺林道線、東山田東町線、諏訪湖湖周ジョギングロード、サイクリングロード等、街路灯や足元灯設置も含めて整備を計画。

Q 道路維持補修計画は。

A 町道7路線、延長2580mの整備を行う計画。前年度比3500万円増の1億500万円を計上した。

Q 区長会など町民要望は。

A 令和元年度全区から85件の要望があり、対応済み

Q 新しいスポーツ施設について2人の健康運動指導士を中心に、4〜5人の臨時職員の雇用で運営していくとしている。若者と高齢者のニーズは違う。住民全員が利用できる施設が肝要だが。管理運営は。

A 民間の施設と差別化した、新しい要素を持った器具・スポーツで、家族で楽しみながら運動できる場所にする。特色を持った選択できる施設に。運営などはフレキシブルに対応する。

Q 新年度に高等教育無償化が57件、対応中が5件、国県による対応が21件。

Q 保育無償化の影響は。

A 幼児教育保育無償化で令和元年度は4000万円の減収で全額国が補填した。新年度の見込みはどうか。

A 令和元年度は半年分、新年度は一年分で8000万円の見込み。地方消費税交付金により補てんされる。

文化施設の移管は

Q 諏訪湖博物館・赤彦記念館の業務を産業振興課に移管することにより、教育としての役割を今まで通り維持できるか。観光振興優先にならないか。

A 基本的には今までと変わらない。教育委員会とより一層の連携を図り、文化財を保護し、生涯学習や教育的位置づけも持ちながら観光振興を進める。

Q 新年度に高等教育無償化が実施される。高校は。高校では県において無償化対応されている。

Q 高校以上はどうか。

A 大学、短大、高専、専門学校に対応される。いずれも条件が設定されている。

Q 下諏訪町の教育援助の施策に変更はあるのか。

A 幼保、小中学校、高校以上で教育援助は従来通り変わらない。

小中校の教育体制は

Q 南北両小は施設的に50年が経過し、施設劣化が見受けられる。①国の進める、効率的な学校教育・学校統合による魅力ある学校にするモデルを選択するのか、②地域特性を生かした小規模メリットを最大化した取組みを推進していくモデルを選択するのか。下諏訪町における小中学校のあり方は。

A 地域特性を生かした学



英語教育の研究会風景

Q に英語教育を導入する。町の小学校はどうなるか。

A 英語特区で培った先進的な取組みを基盤に英語を理解し楽しい教育を目指す。



50周年を迎える北小

校に。地域全体で学校を守っていくという意識が高い。4人の校長がいる意義は大きい。

Q 誘客のできる
下諏訪温泉の新設の考えは

A 現状維持にて
対応していく



樽川 信仁

Q 下諏訪温泉の現状と新設についての考えはないか
A 現在ある浴場で対処していけると考える。各財産区の努力や小学生のマナーポスターなどの啓蒙活動で入浴客に楽しんで入ってもらえている。
Q 3月のJRダイヤ改正による町の取り組みは。
A 6市町村首長の一丸となった請願が身を結んだと考える。誘客歓迎の企画は今後も検討していく。
Q 三角八丁の更なる飛躍

Q 風しん予防事業の
現状と対策は

A 抗体検査の
受診推進を



野沢 弘子

Q 町の風しん追加予防接種対象者の、抗体検査受診者数と対策は。
A 対象997人に対し、1月末で、256人実施。実施率は25・7%。未実施の方に再度、個別通知。
免許取得補助制度
Q 消防団員への、ポンプ車運転免許取得補助制度導入に当たって町の考えは。
A ポンプ車を運転するには、準中型免許以上が必要。制度を活用し、団員確保に

の企画は。緩やかな連携の成果はどう考えているか。
A 各種団体の参加数も50を数え、益々発展している。エリア内のみならず、各イベント会場にての賑わいも更なる発展を遂げている。町内以外の誘客にも力を入れたい。大勢の町民の一層の参加を期待したい。
博物館の活用を
Q 諏訪湖博物館の授業などでの活用はできないか。
A 一定の割合で小学生の

つなげたい。
働き方改革に関連して
Q 働き方改革で魅力ある職場づくり、また住民サー



分団のポンプ車

授業に使っている。町内各分館や各種講座でも利用を大いにしていきたい。
マイナンバーカードは
Q 諏訪湖博物館の建物調査、補修の具体的計画は。
A 屋根の経年劣化状況を調査。調査費用を、来年度予算案に計上。
Q 諏訪湖博物館の建物調査、補修の具体的計画は。
A 屋根の経年劣化状況を調査。調査費用を、来年度予算案に計上。



「ここは下諏訪温泉」の大きな看板と奥に諏訪湖博物館

Q 倒壊の恐れのある家屋に早期解決の取り組みは。
A 現在進行中である。一刻も早く対処すべく努力している。持ち主のいる家屋に対しては早急に撤去を促している。また、不在の家屋に対しては順次行いう予定である。
Q 防犯診断カードの見直しについてどう考えるか。
A 診断カードの配布についての苦情は聞いていない。啓蒙活動の効果はある。より一層の安心安全な生活を願う、続けていく。

ビスの一環となる庁舎1階トイレの改修計画は。
A 庁舎を訪れる皆様の利便性も考え、女子トイレを1基から3基、男子トイレ1基を洋式便座に改修予定。
博物館の補修計画
Q 諏訪湖博物館の建物調査、補修の具体的計画は。
A 屋根の経年劣化状況を調査。調査費用を、来年度予算案に計上。
Q 消費税10%に伴う軽減税率対策としての、キャッシュレス決済時5%還元は、本年6月で終了する。その後、消費活性化対策でマイナンバーカードを持つ人が、2万円のカード支払いで、5千円分の「マイポイント」がもらえる。町のカード保有状況は。
A 1月31日現在、交付は3615枚、交付率17・86%。県内第2位の交付率。新年度は、来庁者にもPRし申請サポートを行う。

Q 文化財の観光での活用を



A 町全体の観光の活性化は必要

森 安夫

Q 新型コロナウイルス対策は



A 2月27日に対策本部を立ち上げた

松井 節夫

Q 文化財保護法及び地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正成立、博物館管理などが町長部局に移管される。この機会に町所有の文化財を観光に生かすべき。観光振興に向け、関係施設、史跡、個人をも包含したサミットの開催を。

A 商工会議所中心の街づくり推進会議が「街かど博物館」を展開しているが、少し意識が薄れてきた。町全体で観光の活性化を検討するような組織再構築を、

Q 学校の休校は対策本部で決めたのか。

A 補習は考えていない。防災意識と町の安全

Q 町内会加入条例の制定を

Q イオンの建設の進捗は。



イオン建設予定地

Q 20号バイパスのトンネル廃土を水月公園に盛土す



盛土予定の水月公園

Q 町内の特養で職員不足で入居できないでいる。町の援助は。

介護職員不足は深刻

介護職員不足は深刻

**Q 8月豪雨の被災箇所の
現地説明会開催は**

**A 地域と相談して
開催する**



中山 透

**Q 教員の変形労働時間制は
勤務軽減に？**

**A 学校現場には
なじまない**



増沢 昌明

**Q 教員の勤務管理はどの
様に実施しているか。**

A 各校に出退時にボタンを押す方式で勤務管理を行っている。一校が未実施だが、近々実施できるようになる。

**Q 学校給食無償化を求め
る。実施自治体は一部負担
など財政的工夫をしている。**

A 各自治体の工夫・考え方を否定するものではないが、当町においてそれを優先すべきことなのか検討をしなければいけない。

学校の危機管理は

Q 自然災害への対応は。

A 地震・風水害等に対してマニュアルがある他、災害発生時、不審者、伝染病のマニュアルもある。

Q マニュアルの見直しは。

A 県のマニュアル改正時に見直しをしている。

**Q 新任教員向けの防災マ
ップを活用した学習会は。**

A 校長会を通じて検討。
南海トラフ等の備えは、

A 小5のキャンプでサバ

綿の湯周辺整備を

Q 綿の湯の復元は。

A 当初はポケットパークという構想であったが、「旧綿の湯整備に関する懇談会」で色々な意見が出された。参加者の総意として「何か良い活用方法を検討するため、今後も協議を続ける」と言うことであった。そのため町としての事業計画は一旦白紙ということになっている。復元については、約束出来る段階ではない。

**Q イバル体験、災害時リーダ
ー研修を行っている。**

A 災害時の児童生徒の安全確保は。

**Q 訓練を通じて安全確認
して児童生徒の命を守る。**

防災・減災について

**Q ハザードマップ配布の
反響は。**

A 家族の話し合いのきっかけになった等、好評。

**Q 各地区避難所マニユア
ルの作成状況は。**

A 各地区に合わせたもの

本陣家主さんも含めて周辺一体整備を検討していきたい。



どうなる？ 綿の湯跡

**Q 「六湯会議」の経過は。
昭和63年、八つの温泉**

を作成した後、区民参加訓練を行ってほしい。

Q ドローンの活用は。

A 今後活用について研究
していきたい。



昨年末に更新された
ハザードマップ

一般質問

施設の代表者で構成する会議として発足。現在は六つの温泉施設代表で構成されているので「六湯会議」と称している。

**Q 町民参加の「温泉資源
活用検討会議」の設置を。**

A 来年度、温泉事業からの会計精算が終わるので、今後どうしていくかを議論する場が持たれると思う。

しかし、権利者のみなさんが集まる「六湯会議」は重要な会議なので、区別して考える必要がある。

小学生の語学研修を

**Q 町独自の英語教育を進
め、再度特区をとつたら
いかか。たとえば小学生の
海外研修はどうか。**

A 楽しく学ぶことを大切に
にする。海外研修は難しい。

**Q 国内での語学研修は。
校長会に提起したい。**

子育て支援について

Q 保育士の確保を。

A 来年度、新規4人採
用し支援拡充。

Q 新年度予算の基本的な考え方は



青木 利子

A 4期目最終の公約実現に

Q グローバル教育の推進は



大橋 和子

A 世界で堂々と働ける人を育てる

グローバルな教育を

Q イマージョン教育について。カナダやアメリカから始まった第二国語としての授業をどう思うか。

A 心身共に健康で、個性豊かで、やさしい、想像力ある世界で堂々と働ける人格者になってほしい。

Q 国際バカロレア教育について。スイスのジュネーブに本部のある財団法人で、日本の認定校は75校、長野県には3校ある。外国語を

Q 町長任期4年目の最終年度予算の特徴は。



艇庫が完成 AQUA未来

A 約束したことを着実に実行する予算。将来構想は今年度で艇庫が完成し、新

通して語学力、主体性、積極性、そしてチャレンジ精神など養う教育は。

A 小林りんさんが軽井沢で目的に叶った学校を設立。



南小5年生の英語授業

災害に備えて

Q 消防ホースをリサイクルした多機能のホースパックの導入は。

A 効率・効果性を検討中。
Q 簡易デジタル無線は行き渡っているか。

A 簡易デジタル無線は平成25年55台を購入。アマチュア無線クラブ員と災害協定の締結をしている。
Q 要支援者又は要配慮者の避難方法について。

A 要配慮者などの名簿を作成。行政、社協、警察、民生委員、区、近所住民と、

より実効性のある対策を構築する。

Q 東松島市では東日本大震災で発生した110年分のがれきのうち、97%をリサイクル済み。被災者には雇用で経済支援も生む。この取り組みについては。

A 災害に備え、民間業者と提携している。
Q 特に女性向けに災害時の公衆浴場の開放は。

A 想定できない事を常に考えておかないといけない。

Q 春宮公衆トイレ建設事業の内容は。

A 平成28年に諏訪大社と相互応援協定が結ばれ、駐車場も同意された。洋式トイレと防災機能をもった倉庫を併設し景観に配慮する。

令和2年は実施設計と建設で令和3年以降に諏訪大社がトイレを解体。一部駐車場の改良工事を行い、完成は御柱祭には間に合わせる。

読書推進 どう図る

Q 図書購入事業の内容は。

A 図書購入の根拠は、町立図書館資料収集方針の定めに従っている。児童図書は児童が読書の楽しみを発見することができる資料、科学的な物の見方・考え方を培う資料。また青少年・一般や高齢者向けが定められている。
Q ブックプロジェクトは。

A 読書推進委員会において、新年度の事業は、小中の高い図書委員会の、活動の交流会に力をいれる検討がされている。

防災倉庫併設トイレを

観光施策では就任時からの課題だった四ツ角駐車場の整備。武井医院を解体して頂ける契約が結ばれた。合わせて交差点や駐車場の改良で御田町に新たな店ができ、町並みが整備され観光の導線も生まれる。

議会掲示板

ここでは、議会が行った活動や議会からのお知らせを掲載します。

1/8

「ゲートキーパー」養成研修会



ゲートキーパーとは、自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応を図る「命の門番」とも呼ばれる人。町の「自殺対策推進計画」に沿い、昨年職員対象の養成研修が実施されていることから、「我々議員も！」と、保健師さんを講師に受講しました。

R20号下諏訪岡谷バイパス第1工区を視察

1/20



長地トンネル掘削予定地、一の釜遺跡、ホシスメバの3ヶ所で、国・県の説明を受け、工事の進捗状況を確認。

2/25

社会福祉協議会との懇談会



社会福祉協議会の各種事業について、具体的な事例も紹介いただきながら、理解を深めました。高齢化が進み業務が多様化する中、限られた人員でご苦労いただいています。

Q 区の表記を数字から地名にしてほしい

A 町としてはむずかしい



岩村 清司



Q 区の表記を数字から誰かがわかる地名にするには、今後どの様に町民要望に答えられるか。
A 理解は出来るが、町として推進することは難しい。区長会等で皆さんがしっかりと意識を持って変えたという状況になれば、町として検討していきたい。

Q 具体的に7区において東山田区への名称変更要望が提出された場合は、一つの区だけでも区名変更は可能か。

A 1区から10区で対応させて頂いているから7区だけが東山田区にすることは基本的に行政運営上、事務量が多くなりできない。

町名変更の考え方は

Q 現在の住所は、下諏訪町○○○○番地、下諏訪町社○○○○番地しかない。現在、多くの町民が番地だけでは全く分からない表示に不満を持っている。下諏訪町の次に字名を入れる意識をどう捉えているか。

A どの町名に該当するか区分し、飛び地もある中で区域を明確にする必要がある。又、議会の議決を得る必要や全町的な協力が不可欠であり、住民の生活や役場の業務において非常に大きな影響を与える。民意の高まりや更なる研究が必要である。

Q 下諏訪町のかおり高い文化を創造するまちをつくるには、大きな意義があると考えているが。

A 現在のままでも地域の



昭和58年に幻に終わった住居表示

皆さんに影響があるとは思えない。現在は民意として盛り上がりを感じていない。地域の皆さんから多くの意見が出てきたら検討したい。

京都市 学校歴史博物館



生活文教常任委員会
1月に実施した行政視察報告

京都まなびの街 生き方探究館



生き方探究館

キャリア教育を学ぶ

まず京都まなびの街生き方探究館を視察。

地域や社会との関わりの中で生き方を考え、生きる力を育む「生き方探究教育(キャリア教育)」の更なる推進を図るため、産学公連携のもと、世界最大の経済教育団体ジュニア・アチーブメントの教育プログラムである「スチュUDENT・シティ」「ファイナンス・パーク」を実施している体験型の学習施設です。

このプログラムは、京都ならではの伝統・景観、また環境の視点を取り入れた特色あるものとなっています。現在は市内の全小学校、中学校が85%利用する施設です。

主な事業としては小学校4〜6年対象の「スチUDENT・シティ」。仕事と学ぶ社会とのかかわりとして、館内に再現

された井筒八ッ橋本舗などの13ブースからなる実際の街で児童が1人の大人として社員・職員と、

消費者の両方を交互に体験し、社会の仕組みや経済の動き、働くことの意味、社会と自分との関わりを学びます。

中学1年生を対象とするのが、「ファイナンス・パーク」。人の暮らしと家計のやりくりを、関西電力など7ブース、19業種からなる実際の街で食費など生活に必要な費用の試算、商品やサービスの

購入・契約などを体験し、社会にあふれる情報を適切に選択・活用する力や自らの生き方につながる生活設計能力などを育成する場となっています。

「京都モノづくりの殿堂」とモノづくり体験を行う「工房」も開設されています。



学校歴史博物館

旧開智学校のルーツが

次に視察したのは、京都市学校歴史博物館。明治2年6月、日本で最初の近代学校教育の発祥地です。市民の生涯学習や子ども達の学習活動に取り組んでいます。

ちょうど、視察に伺ったときは、門の所に国宝・旧開智学校校舎のボ

スターが貼られており、特別展として展示がありました。資料では「日本の教育実践資料」と評価されていました。

地域で子どもを育てる環境があり、魅力ある京都の町づくり、商売、教育と、先人の素晴らしさを研修してきました。

好きです しもすわ

「人が人を呼ぶ町、下諏訪」



地域おこし協力隊
両角 優美

昨年の8月より、下諏訪町の地域おこし協力隊として活動しています、両角です。下諏訪町の皆様にはいつも大変お世話になっております。普段は御田町にある mee mee center sumeba

(「ミーミーセンタースメバ」という町の移住交流拠点で、下諏訪に移住したいと思っている方や町で暮らしている方と交流しながら、下諏訪町の魅力の再発見と情報発信を行っています。)

私が下諏訪に来て一番感じたことは、下諏訪には魅力的な人がたくさんいるということです。そういった方々に話を聞いてみると、「〇〇さんが下諏訪にいるから来たんだよ」と下諏訪に住む人をきっかけに移住を決めたという方がとても多く、豊かな自然や観光資源も多い下諏訪ですが、そこに住む人が町の魅力となっているのです。人が人を呼ぶ町、下諏訪。まだまだ下諏訪には知らない場所や歴史、お会いしたことのない人など、たくさん魅力が詰まっています。今後の協力隊活動を通して、私自身も人をつなぐことのできる、魅力的な人になれたら嬉しいのです。

編集後記

三月議会が終わり議員生活がまもなく一年となります。振り返ってみれば教えていただくばかりの毎日でした。一般質問の提出ルールには本当に閉口しました。何度となく書いては捨て、捨てた原稿を見直し、また書いての繰り返しです。自分の要望が多少なりとも意を酌み、考えが叶うよう

(N・T)

広報特別委員会

- 委員長 金井敬子
- 副委員長 松井節夫
- 委員 中村光良
- 委員 樽川信仁
- 委員 林元夫
- 委員 大橋和子

議長のつぶやき

ご縁から繋がるもの



議長 宮坂 徹

三月議会が終了しました。通常の議案審査に加えて予算審査があり、議案の数も30を超えるというものでした。

令和2年度の施政方針は、「安全に、健康で暮らし続けることができるまちづくり」、「安心して子どもを産み、育てることのできるまちづくり」、「安定的に働き続けることのできる地域、まちづくり」、「住んでいることに誇りが持てる住民主体・協働のまちづくり」を掲げ、健康スポーツゾーン構想の集大成となる健康スポーツ施設整備、四ツ角周辺における街なみ環境整備などの投資的な事業、社会保障関連経費の手当ての中で、子育て、教育、健康、防災等を盛り込んだ積極型

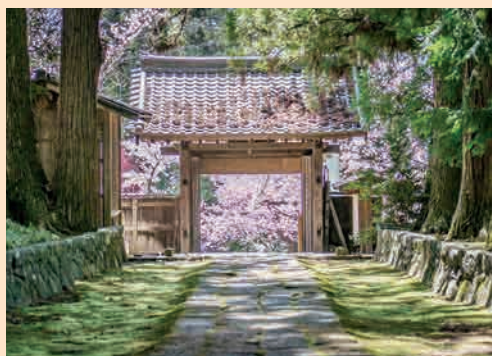
の予算としています。

各論的には賛否両論ある中での審査でした。

去る2月に大相撲荒汐部屋の地方後援会「諏訪湖後援会」が発足しました。部屋の後援会会長藤井大悟氏の婦人が下諏訪町出身というご縁があったことです。前回の御柱祭の折にご縁が繋がり、その後荒汐部屋の力士が町民祭りに参加したり、合宿をしてくれ、お相撲さんの姿を見かけるようになりました。諏訪湖場所の実現もこのことからでした。「お相撲さんが歩くまち下諏訪!」、なんか微笑ましく楽しんで。

(写真は、新荒汐親方とのツーショット)

表紙写真



今号から表紙の写真を町職員 福王寺 嵩平さん(建設水道課)にお願いすることにしました。四季折々の風景を素敵に映す写真をお楽しみください。